

2018年4月19日

各位

すみだ水族館

**魚たちの心地よい暮らしを探る、新たな水景。
「waterscape 水の中の風景」を開催
2018年4月27日(金)～7月8日(日) 水族館を楽しむ新しい視点**



魚(プラティ)の水槽 (写真①)



カメ(カプトニオイガメ)の水槽 (写真②)

すみだ水族館（所在地：東京都墨田区、館長：名倉 寿一）は、2018年4月27日(金)から7月8日(日)までの期間、「waterscape 水の中の風景」を開催しますのでお知らせします。

「waterscape 水の中の風景」は、すみだ水族館と日本デザインセンター三澤デザイン研究室が新しい「水の中の風景」を設計した企画展です。水の中で暮らすいきものたちが本来持っている習性や、自然界でよく見せる行動を元に設計された構造物により、生態本来のさまざまな暮らしのシーンを引き出すことに挑戦しました。水中の景観を新たな視点で体感できる、これまでとは異なる8つの水槽を展示します。

水中を縦横無尽に泳いで水草を食べる習性を持つ魚(プラティ)の水槽には、空気の入ったガラス製の球体が浮かんでいます。球体の中は温度変化の少ない温室となって水草が育ち、魚が球体の下の開口から自由に球体の中へ出入りして水草をつつく姿を観察できます。(写真①)

また、時々水面に顔を出して息継ぎをするカメ(カプトニオイガメ)の水槽では、いくつもの浮き島が縦に連なった構造物が浮かび、水中の島を足場にカメが息継ぎをしたり、島に上がって甲羅干しをするようすなどが観察できます。(写真②)

泡や雲、綿毛など、自然物をモチーフにして作られた有機的な造形は、どれも水中の景観に柔らかく溶け込み、いきものたちの暮らしに寄り添います。

水で暮らすいきものたちの生態環境をゼロから探り直した、全く新しい形的水中景観をぜひご覧ください。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

すみだ水族館 広報チーム/恵土・守下

■TEL:03-5619-1284 ■MAIL:press-sumida@orix-aqua.co.jp

■「waterscape 水の中の風景」概要

【展示】「waterscape 水の中の風景」

展示期間：2018年4月27日(金)～7月8日(日)

展示場所：6F テラススペース付近

展示内容：小さいいきものたちが暮らす8つのキューブ型水槽の中に、3Dプリンターや型抜き、吹きガラスなどを用いて制作した有機的で美しいフォルムの構造物を配置します。「浮く」と「沈む」それぞれの力の作用を巧みに利用しながら、水の中層で静止したり、アンバランスな形状ながらも安定して自立するように設計されています。それぞれのお水槽で、いきものがもつ生態について学ぶことができる水景です。

展示詳細：

- ① 【水の中の温室・気球型】(ガラス製)
展示生物：プラティ
アマゾン・フロッグビット(水草)
- ② 【水の中の温室・ドーム型】(ガラス製)
展示生物：ラミーノーズテトラ
アマゾン・フロッグビット(水草)
- ③ 【泡のゾーニング】(ナイロン樹脂製)
展示生物：アカヒレ
- ④ 【雲のようなかたまり】(ウレタン樹脂製)
展示生物：プラティ
- ⑤ 【開口のある境界膜】(ナイロン樹脂製)
展示生物：プラティ
- ⑥ 【水上の水中・マッシュルーム型】(ガラス製)
展示生物：プラティ、ハニードワーフグラミー
バリスネリア・スピラリス(水草)
スクリュウ・バリスネリア(水草)
- ⑦ 【水上の水中・ドーム型】(ガラス製)
展示生物：アカヒレ
アオウキクサ(水草)
- ⑧ 【浮く島、沈む島】(ナイロン樹脂製)
展示生物：カブトニオイガメ

※展示生物・展示構造物は変更になる場合があります。



①水の中の温室・気球型



④雲のようなかたまり



⑥水上の水中・マッシュルーム型



⑧浮く島、沈む島

【水の中の風景プロジェクト】

「浮く」「沈む」それぞれの力の作用を意識的にコントロールし、水中で棲息する生物たちの生態環境をゼロから探り直してみる。それが「水の中の風景」というプロジェクトです。

2015年に東京銀座で展示。その後、新作を加え2016年2月に台湾台北にて展覧会を開催。作品集「waterscape」も展示に合わせて制作されました。

展示した作品はまだプロトタイプ段階ではありますが、いわゆる水槽とは異なる新しい水中景観が存在し得るという可能性を探る試みです。

日本デザインセンター 三澤デザイン研究室



【三澤 遥】デザイナー

デザインオフィス nendo を経て、2009年より日本デザインセンター原デザイン研究所に所属。2014年より三澤デザイン研究室として活動開始。主な仕事に、KITTE や TOKYO BIG SIGHT のロゴマーク、上野動物園「真夏の夜の動物園」の告知物、「UENO PLANET」プロジェクトなどがある。

<コメント>

waterscape は、「水の中の風景」を設計したプロジェクトです。

水中生物だけに焦点を当てるのではなく、その周辺要素も含め、水中という環境をゼロから捉え直す試みです。いずれの作品もさまざまなトライアル過程の集積の上に造られています。水中世界にはまだまだ可能性が満ちています。その可能性を示す取り組みのひとつとして、本展 waterscape プロジェクトをご覧くださいと幸いです。

施設概要

施設名称	すみだ水族館				
英名	SUMIDA AQUARIUM				
運営会社	オリックス不動産株式会社 (本社：東京都港区、社長：高橋 豊典)				
開業日	2012年5月22日 (火)				
場所	東京都墨田区押上 1-1-2 東京スカイツリータウン・ソラマチ 5F・6F				
営業時間	9時00分 ~ 21時00分 ※入場受付は閉館の1時間前まで ※季節による変更あり				
休館日	なし (年中無休)※水族館のメンテナンスやイベント等による臨時休業あり				
公式ホームページ	http://www.sumida-aquarium.com				
料 (消費税込)金	【個人のお客さま】				
		大人	高校生	中・小学生	幼児 (3歳以上)
	一般料金	2,050円	1,500円	1,000円	600円
	※中学生、高校生の方は、チケット売り場で生徒手帳の提示が必要。 ※障がい者手帳をご提示の方とご同伴の方(1名)は、一般料金の半額。				
	年間パスポート	4,100円	3,000円	2,000円	1,200円
	※中学生、高校生の方は、チケット売り場で生徒手帳の提示が必要。 ※障がい者手帳をご提示の方は、年会費が半額。				
	【団体のお客さま】				
	一般団体 (20名様以上)	1,850円	1,350円	900円	540円
	学校団体 ※引率の教員の方は無料 (一部上限あり)	保護者・ 高校生 以上	中学生	小学生	園児 (0歳から 有料)
		1,200円	720円	600円	360円
※学校の行事としてのご入場の際に適用					
アクセス	<ul style="list-style-type: none"> ・東武スカイツリーライン「とうきょうスカイツリー」駅すぐ ・東武スカイツリーライン・東京メトロ半蔵門線・京成押上線・都営地下鉄浅草線「押上 (スカイツリー前)」駅すぐ ※当館には専用の駐車場はございません。東京スカイツリータウン®の駐車場 (30分ごとに350円 (税込み)) をご利用ください。 				
館長	名倉 寿一 (なぐら としかず)				
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・全館禁煙 ・給湯シンクを備えた授乳室 (計2カ所) ・おむつ替えコーナー (計8台) ・盲導犬などの介助犬の同伴可能 				